

帯広市男女共同参画情報誌

カスタネット

Vol.34 2017.10

特集

ワークライフバランス

～女性が変わる、男性が変わる、会社が変わる～

- 男女共同参画セミナー取材記事
- 帯広市女性活躍推進異業種交流会
「おびひろGWS～Go for women's success!」
- 団体紹介「帯広友の会」
- 帯広市女性人材バンク登録者を募集しています!



「カスタネット」とは、2枚の丸い木が合わさり音が出る楽器から、女性と男性が共に歩むイメージを表現したものです。

「ワークライフバランス

～女性が変わる、男性が変わる、会社が変わる～

▽2017年9月7日(木)とかちプラザ視聴覚室にて、札幌大学客員教授で、元FM北海道パーソナリティの中田美知子さんに、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)のあり方についてお話しいただきました。

「今、なぜ女性活躍？」

日本の将来推計人口(左表)を見ますと、2110年には、日本の総人口は5千万人を下回るとされています。今は4人の労働者で1人を支えている状態ですが、将来的には、1人が1人を支えることになり、労働者人口の減少をどうするのか大きな課題になります。課題解決の方法として挙げられるものとして、高齢者の社会参画や海外からの移民受入れ、AI(人工知能)の普及などがあり、その1つに、女性活躍の推進があります。

	2010年	2060年	2110年
総人口	12,806万人	8,674万人	4,286万人
老年人口	2,948万人	3,464万人	1,770万人
生産年齢人口 (15歳～64歳)	8,174万人	4,418万人	2,126万人
年少人口 (～14歳)	1,684万人	791万人	391万人

▲日本の将来推計人口(死亡中位 合計特殊出生率1.35(平成24年))
(国立社会保障・人口問題研究所より)

総務省の労働力調査から、非労働力人口の女性のうち、300万人以上が就労を希望していることがわかりました。日本は育児や出産期に仕事を辞める女性が多く、スウェーデンなどと比べると、労働力率の男女格差があります。



講師 中田美知子さん

労働力人口の低下に歯止めをかけるためにも、こういった女性の就業促進が重要となります。

「女性問題は男性問題へ」

大介護時代の到来によって、いずれ育児や出産で休む女性より、介護で休む男性の方が多くなるといわれています。今も介護男性は増えていますが、周りに迷惑をかけたくない、同情されたくない、出世に影響などの理由から、会社に言わずにひっそりと介護をしている現状があります。これからは、時間に制約のある人たちの集合体でいかにビジネスをやっていくか、ということを考えなければいけません。

「これからの働き方は？」

長時間労働はもはや、「勝つための手段」ではなく、「負けている原因」といわれています。現在の市場は、均一なものに飽きています。高度経済成長期のように、同じ条件の人を揃えて、一生懸命同じものを作

り続けてもなかなか売れません。なるべく違う条件の人を揃えていく方がいい。時間に制約がある中で、長時間労働を是とするのではなく、会社全体で短時間で成果を出す癖を徹底的にトレーニングしていくことが必要です。

「特效薬は、自分たちで作る」

ワークライフバランスに、万能薬はありません。それぞれの会社の特效薬は、自分たちで見つけて作っていかなければいけません。会社の中を見つめて、現実に合わせて古い習慣はないか洗い出し、どうやったら時間を作れるか、それをどう自分たちの生活に反映させていくか、ということを見つけていくと、男性も女性もいきいきと働く職場ができるのではないかと思います。

セミナーに参加して

ワークライフバランスは、生活と仕事のバランスを良くすることであり、バランスを良くすれば生活と仕事の質がさらに向上し、相乗効果が生まれるとお話共感し、感銘を受けました。今回の講演を聞いて、新しい視点を得ることができました。



帯広市女性活躍推進異業種交流会

「おびひろGWS ～Go for women's success～」

2017年7月19日(水)、とかちプラザにて、帯広市と損害保険ジャパン日本興亜株式会社(以下、損保ジャパン日本興亜)による「第1回帯広市女性活躍推進異業種交流会」(名称:おびひろGWS「Go for women's success」)が開催されました。

これは、帯広市と損保ジャパン日本興亜が、同年2月に締結した「女性活躍に関する包括協定」に基づき、働く女性の活躍推進をはかる目的で企画されたもので、今回は、帯広市内の10社・団体が開催されました。



▲自社の取り組みについて説明する講師(損保ジャパン日本興亜 土橋氏)

から21名が参加しました。

はじめに、損保ジャパン日本興亜人事部ダイバーシティ推進グループの土橋沙江副長から、同社で行っている女性活躍推進の取り組みについての説明がありました。損保ジャパン日本興亜は、社員の半数以上を女性が占めており、女性の活躍がなければ会社の成長は望めないという考えに立っています。そこで、2003年に「働きやすさ」、2010年に「働きがい」、2015年に「働き方改革」を課題として取り組んできたこのことで

した。特に、「働きがい」の取り組みでは、コーズ別の人事制度撤廃、女性リーダー研修の充実を軸に、女性のキャリアアップを目指しているとのことでした。その他にも、育児復帰者向けフォーラムの開催や、男性育児休業百パーセント取得の推進、育児短時間勤務制度など、仕事と家庭の両立のための支援が多数報告されました。その後、参加者同士のグループワークが行われ、3つのテーマ①やるべきこと(MUST)②やりたいこと(WILL)③できること(CAN)に沿って、各自がシートに記入し、それをもとに2人1組で参加者同士の交流を行いました。

最後に各参加者が3～5年後に向けた自分自身の課題と、その達成へのアクションプランを作成してそれをグループ内で発表するなどし、和やかな雰囲気の中で交流会が終了しました。

参加者からは、

「他社の取り組みについて伺うことができて、今後の参考になった」などの声が上がりました。

今年度は、11月と2月にも同交流会を開催する予定です。



▲グループワークを行う参加者

男女共同参画に関する用語集

ワーク・ライフ・バランス…「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことをいいます。

ダイバーシティ…直訳すると「多様性」のこと。また、性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。組織や企業におけるダイバーシティとは、多様な人材を積極的に活用することで、有能な人材の発掘や、社会の多様なニーズへの対応を図り、生産性を高めようとするマネジメントのことをいいます。



「カエル! ジャパン」キャンペーン

内閣府男女共同参画局では、ひとつ「働き方」を変えてみよう! 「カエル! ジャパン」のキャンペーンへの参加を呼びかけるなど働き方改革に取り組んでいます。



団体紹介

帯広友の会



友の会は、昭和五年に雑誌「婦人友」の愛読者によって誕生した団体です。今年で創立87年目になり、全国の会員は約1万8千人、帯広には240人の会員がいます。今回は、帯広友の会の田沼誠子さんに、会の活動についてお話を伺いました。

帯広友の会では、月1回の例会や、近隣の会員が集まる最寄会があります。乳幼児のお子さんを持つ母親だけでなく、仕事をしている女性、高齢会員、農家会員などがそれぞれ集まるグループ会も活発で、産休・育休中に入会する若い人も多くいます。衣・食・住の勉強に加え、家計簿記帳も盛んで、「やりくり上手になりたい」と会員外の方も大勢集まっています。

全10回シリーズで行っています。

写真は、「幼児のお弁当と常備菜」の講習の様子で、9名の参加がありました。子どもが好き嫌いなく食べられ、一日に必要な栄養素を摂れるよう、食べやすい大きさや形に調理した常備菜を、量やバランスを考へながら、お弁当箱に彩りよく詰めて、楽しくお弁当を作りました。早速自宅で作った人から、「今まで食べなかつたほうれん草やピーマンを喜んで食べました!」と嬉しい報告がありました。

今年度の活動として、10月半ばから全12回「家事と家計の講習会」を開催します。家計簿を付けることで生活が変わった様子を話し、一緒に日々の暮らしを語り合いたいと思っています。

連絡先 帯広友の家 帯広市西17条南3

丁目32の16 (火・土・日休館)

☎0155-36-0701



「帯広市女性人材バンク」の登録者を募集しています

帯広市では、各種審議会等の政策方針決定の場や講演における講師などに女性が参画できる機会を増やし、その能力を發揮していただくため、「帯広市女性人材バンク」を設置しています。

女性人材バンクは、さまざまな分野で活躍されている女性の情報を、審議会や講演会の主催者の方々に適切に提供するものです。自薦、他薦(本人の承諾が必要)は問いません。専門的知識や技能をお持ちの方はもちろん、市政に関心のある方、意欲のある女性の方、ぜひご登録ください。

女性人材を推薦できる団体の登録も行っています。

申し込みは随時受け付けていますので、市のホームページ(※)からダウンロードした申込書に記入し、男女共同参画推進課に郵送又は持参してください。登録条件など、詳しくは男女共同参画推進課までお問い合わせください。

登録者募集中!



※詳細は、市HPで「女性人材バンク」と検索してください。

女性人材バンク

検索

皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

〒080-8670

帯広市西5条南7丁目 帯広市役所 男女共同参画推進課

電話: 0155-65-4134 FAX: 0155-23-0171

電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成29年10月発行

●発行: 帯広市

●企画・編集: 帯広市男女共同参画推進員

池田 淳一・伊藤 容子

遠藤 妙子・川尻れえ子

田沼 誠子・沼田 秀実